
チュッチュの防衛戦

あおいろ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チュツチュの防衛戦

【Nコード】

N4754N

【作者名】

あおいろ

【あらすじ】

昔懐かしのチューペット。

大人になった今

チューペットとの戦いは始まった。

「これは甥の為に冷やしてるからね」

母から言われた。

別にチューペットなどに

今さら興味はない。

子供の頃

ラジオ体操に行っても

盆踊りの練習に行っても

町内の運動会に行っても

チューペットは配られた。

値段が安いからとの理由で

子供の行事には欠かせないチューペット

別名「チュツチュ」は

明らかに体に悪い色をしていて

別段美味しいわけでもなく

子供だましの手頃なアイスだ。

私はチュッチュの味が苦手だったので

冷凍庫の中には毎年

色とりどりのそれが

いつか私に食べられるという

叶わぬ夢を見て

翌年まで眠っていた。

甥のチュッチュに着目したのは

焼酎に必要な氷を取りに行った時だ。

ここ最近夏ばて気味で

飲み物だけで済ます夜も少なくない。

例外なく昨夜もムシ暑く

昔あんなに拒否したチュツチュが

無性においしそうに見えた。

まあ少しくらい食べても気付かれないだろう。

甥の為に用意されたチュツチュは

私の都合で割られる事となった。

チュツチュを割るのは何年振りだろう。

なぜだか少しワクワクした。

懐かしい音と共に

2つに割れたチュツチュは

うまいこと割れず

1つはとても食べにくい状態になっている。

それでも

昔のような薬に似た味はせず

さっぱりとした後味で

なかなか悪くない。

火照った体は涼しくなるし

まあ気に入った部類には入るだろう。

あつとゆうまに甥のチュツチュは

1本減った。

そして先ほど上手に割れなかった

リベンジの時がやって来た。

また気持ちよく割れない。

リベンジは続く。

甥のチュツチュは減っていく。

気力で3本目を食したが

完全に味に飽きた。

しかしチュツチュからベルトを奪えないまま

引き下がるのも悔しいものだ。

残りあと5本。

なんとしてでも

きれいな2つに割ってみせる。

その健闘も虚しく

チュツチュは防衛戦を勝し

私は惨敗のままリングから降ろされた。

冷凍庫の中には

勝利したはずの

折られた無数のチュツチュが

悲しく横たわっていた。

母が冷凍庫を開けて驚愕したのも

無理はない。

しかし私が悪いわけではない。

きれいに割れない

チュツチュに責任はあるのだ。

それに折られていようが

チュツチュの味には変わらないし

むしろ折ってあげたのだから

ありがとう

と言われるべきである。

チュツチュを食べる事より

ようやく自分で折れるようになった姿を

バアバに見せたいと言う

甥の思いをようやく聞かされたが

もはや遅すぎる。

チュツチュから

勝利のベルトを奪う事は出来なかったが

甥の笑顔と

バアバの笑顔は

あっという間に奪い取ってしまった。

そして勝利したチュツチュが

翌年まで冬眠するのは

悲しき事実である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4754n/>

チュッチュの防衛戦

2011年1月15日20時43分発行